

平成30年度

事業報告書



必勝法を学ぶ! 放課後子ども教室での“将棋教室”



おはなし会ではみんなが笑顔 “読み語りキャラバン”



素敵な演奏を届けます。“足立ジュニア吹奏楽団”



楽しいふれあい、放課後子ども教室での“おりがみ教室”



平成 30 年度 経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

区は、平成 28 年 10 月策定の基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」と掲げた。また、平成 28 年 2 月策定の教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業や学びの成果を地域に還元する事業を展開してきた。今後は、これらをさらに進化させ、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進していく。子どもたちが多様な体験をする「あだち放課後子ども教室」は、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。学習・スポーツ・文化については、区民の主体的な生涯学習を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に展開し、活力ある地域活動につなげていく。

平成 30 年度の事業計画及び予算編成にあたっては、平成 27 年度に策定した「公社中期事業計画」に基づき、今後の公社職員の減員と自主財源の減少を見据え、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区の施策との連携を深め、事業の実施効果を上げ、区民サービスの向上に努める。

平成 30 年度 重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

(1) 全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週 5 日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

(2) 放課後子ども教室体験プログラムの実現

「足立区放課後子ども総合プラン^{*}」を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化に取り組む。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

* 「足立区放課後子ども総合プラン」: 文部科学省と厚生労働省が平成 26 年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が平成 27 年度に策定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大、校内および隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを目指す計画

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

(1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

(2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場で還元して様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

(3) 新たな文化の創造

文化面では、“ネットワーク”と“アウトリーチ”をキーワードに、新たな文化を創造しようとする区民やアーティスト等を緩やかにつなぎ、多様な文化活動の創出を図る。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社 (2019. 3. 31 現在)

設 立 平成5年2月1日 (平成12年4月1日名称変更)

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 亀村 精一

職 員 数 42名

常勤28名 (派遣6名、固有22名)、短時間再任用1名、非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <https://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図

(決議機関)

評議員会

(監査機関)

監 事

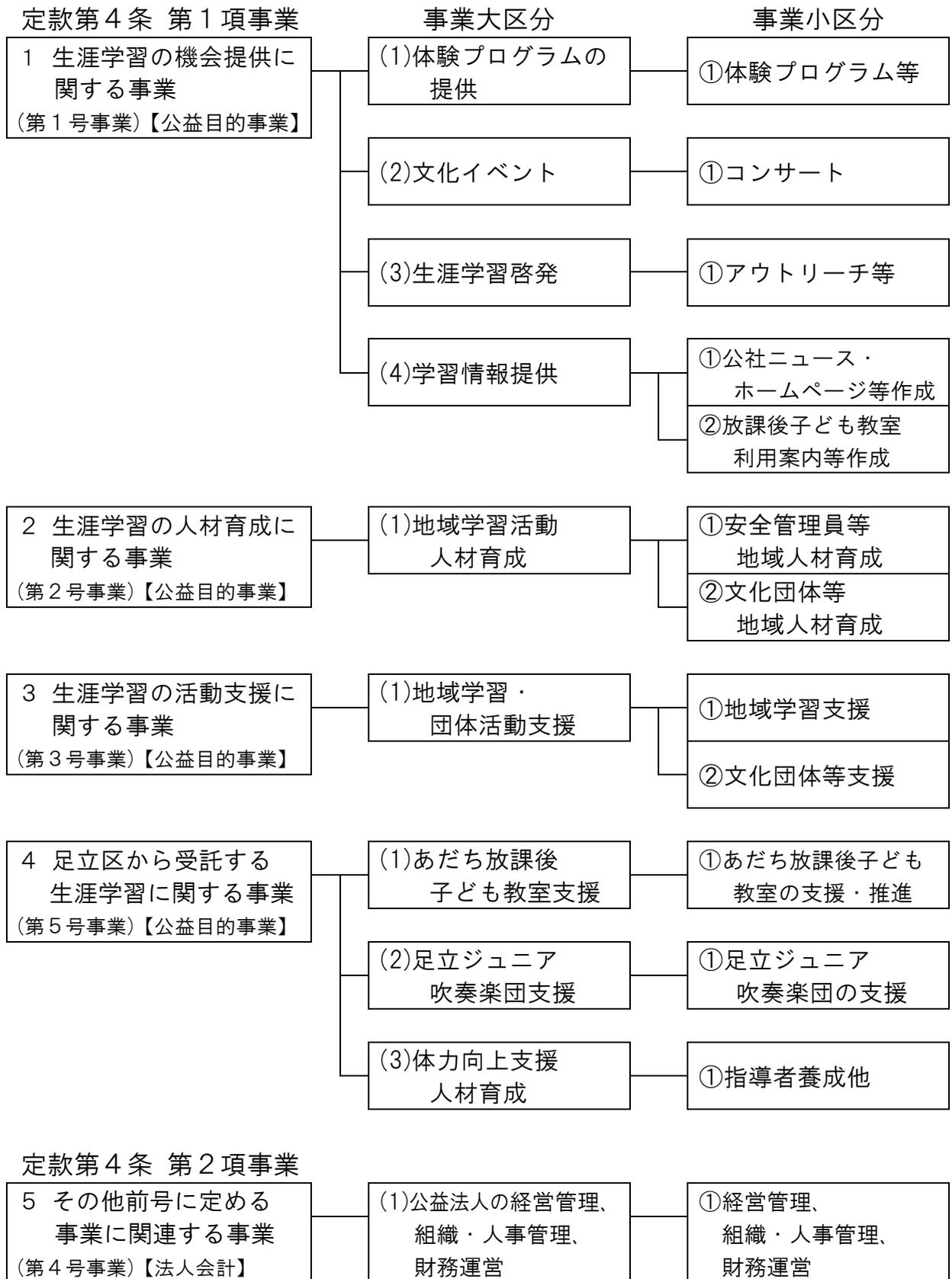
(執行機関)

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
(代表理事) (業務執行理事)

(事 務 局)

事務局長 $\left\{ \begin{array}{l} \text{総務部} \quad \text{企画総務課、企画調整担当課長、経理課} \\ \text{学習事業部} \quad \text{放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長} \\ \quad \quad \quad \text{学習・スポーツ事業課、文化活動支援課} \end{array} \right.$

平成30年度 定款事業別体系図



目 次

1 あだち放課後子ども教室事業

【1】 あだち放課後子ども教室の支援<<区受託>>	6
【2】 『放課後+One』(放課後子ども教室における体験プログラム)	9
(ア) 地域人材活用・体験プログラム	
(イ) 団体連携・体験プログラム	
(ウ) 公社企画・体験プログラム	
【3】 安全管理講習会(応急手当実技)<<区受託>>	13
【4】 新任安全管理講習会(応急手当実技)<<区受託>>	13
【5】 安全管理員研修会(3コース)	14
【6】 運営委員会<<区受託>>	15
【7】 ブロック会議<<区受託>>	16
【8】 「あだち放課後子ども教室利用案内」の配付	17
【9】 「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の配布	18

2 文化事業

【1】 あだちアートリンクカフェ	19
【2】 あだちアートリンクカフェ公開講座	20
【3】 実践！アウトリーチ講座	21
【4】 文化団体等支援	22
【5】 イベントコーディネート事業	23
【6】 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(通年)<<区受託>>	24
【7】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)	26
【8】 コンサートin ミュージアム	27
【9】 小学校アウトリーチコンサート	28
【10】 アウトリーチコンサート(児童福祉施設等)	29

3 生涯学習・スポーツ事業

【1】	あだちこどもサポーター養成講座	30
【2】	あだちこどもサポータースキルアップ講座	31
【3】	あだちこどもサポーターフォロー講座	32
【4】	あだちこどもサポーター活動支援(随時)	33
【5】	あだちこどもサポーターネットワーク支援	33
【6】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢期)～	35
【7】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～	36
【8】	健康づくり・スポーツ活動支援講座	37
【9】	地域活動支援講座	38
【10】	地域学習コーディネート事業	38
【11】	読み語りキャラバン隊によるおはなし会	39

4 広報事業

【1】	公社ニュース「ときめき」での自主事業等情報発信	40
【2】	公社ホームページによる情報提供事業	40

5 その他

【1】	公益目的事業に対する人件費	41
【2】	その他前号に定める事業に関連する事業	41

<p>《目標達成度》</p> <p>◎…90%以上</p> <p>○…70%～90%未満</p> <p>△…70%未満</p>

1 あだち放課後子ども教室支援事業

あだち放課後子ども教室支援 経費	予算現額	222,538,000 円
	執行額	213,885,494 円

予算現額	219,245,000 円
執行額	210,665,094 円

【1】あだち放課後子ども教室の支援《区受託》 定款第4条第1項第5号	予定回数/目標人数	実施結果	達成
--	-----------	------	----

(1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	年間参加児童数(1校) 10,500人	年間参加児童数(1校) 10,305人	◎
--	------------------------	------------------------	---

概要	あだち放課後子ども教室* を運営する実行委員会* を区から受託して支援する。 ※P.6～ の文中にある「スタッフ」は、子どもを見守る安全管理員のことである。
----	---

目的	1 各放課後子ども教室の年間事業計画を基に実施する。 2 全学年実施校を拡大する。 3 体験・交流活動の充実を図る。
----	--

実施結果	1 放課後子ども教室運営の支援 (1)各実行委員会への支援 会議の実施調整、スタッフの募集、スタッフへの謝礼支払い代行、運営マニュアルの配付・説明、参加児童の登録事務の支援など (2)各放課後子ども教室の日常運営への支援 開催時の巡回、事故・トラブル対応、学校との連絡調整、スタッフ会議への出席、避難訓練の実施、運営課題への助言、運営に必要な事務の支援など (3)事業の周知 放課後子ども教室事業への理解を図るため、広報紙、ホームページ、利用案内(P.17参照)等による事業周知を行った。 (4)スタッフ確保への支援 ア スタッフ活動説明会の開催
------	---

対 象	実施日・会場	参加者等
一般区民	8/31(金) 生涯学習センター	出席 10人(申込 13人) スタッフ登録 11人(説明会当日欠席者含む)
大学生	12/12(水) 東京未来大学	出席 8人(申込 8人) スタッフ登録 2人、調整中 1人
保護者	3/14(木) 千寿第八小	出席 2人(申込 2人) スタッフ登録 2人

イ スタッフ募集案内の作成と配布(P.18 参照)

スタッフ募集案内を9月に、8,000部増刷した。従来の各小学校の保護者、地域への案内配布に加え、区内の公共施設、駅スタンド、金融機関、大学に配架先を拡大してスタッフ活動を広く周知した。

ウ 各種広報媒体での周知

足立区及び公社ホームページ、広報紙ときめきでの募集記事掲載を引き続き行い、足立区にてSNSでの発信を行った。

(5) スタッフ研修の実施

ア 安全管理講習会(P.13 参照)

イ 安全管理員研修会(P.14 参照)

2 全学年及び週5日実施の拡大

スタッフ体制の整備、活動場所の調整等について、実行委員会・スタッフ及び学校と協議し、全学年及び週5日実施校の拡大に取り組んだ。

(1) 全学年実施校 66校 (平成29年度末63校)

9月 梅島小、10月 扇小、11月 東加平小 実施

※未実施3校(綾瀬小、亀田小、関原小)

(2) 週5日実施校 67校 (平成29年度末66校)

6月 足立入谷小 週5日再開

※未実施2校(綾瀬小、千寿第八小)

3 「足立区放課後子ども総合プラン」*の実現

(1) 学童保育室との連携

放課後子ども教室・学童保育室・学校の三者による情報連絡会を、校内及び学校に隣接する学童保育室32校で実施し、互いの情報を共有した。

(2) 体験プログラムの拡充(P.9~12 参照)

ア 放課後子ども教室における体験プログラム

各実行委員会が実施する体験プログラムの支援や公社の企画提案による体験プログラムの導入を行った。

イ 協力団体との連携

従前からの協力団体と、より効果的な方法を協議して実施するとともに、新しい協力団体の発掘に努めた。

ウ ボランティア人材の発掘と実行委員会主催プログラムの拡大

体験プログラムをサポートするボランティアを発掘するため、公社主催の区民向け講座を実施した。あわせて当講座をスタッフに周知し、各校の実行委員会が主体的に体験プログラムを実施するきっかけづくりを行った。

・「放課後運動遊びリーダー講習会」(P.30 参照)

・「放課後読書支援サポーター講習会」(P.31 参照)

4 アンケート調査の実施

参加児童の活動状況、満足度の把握を目的として10月に実施。

本年度より、放課後子ども教室に対する児童の要望を記入する欄を設けた。その結果、

「大勢の友達と一緒に遊びたい」との希望が複数あった。この要望に応えるため、体験プ

ログラムの中で集団遊びにつながる種目の提案や、「放課後運動遊びリーダー」の養成により、スタッフ、ボランティアに集団遊びをリードする役割を担ってもらうなどの取り組みを行う。

<実施状況>

年度 (校数)	全学年 実施 校数	1校平均 年間実施 日数	延参加 児童数 (1校あたり)	1校1日 平均参加 児童数	活動 スタッフ 人数	1校平均 巡回回数
28(69)	60校	171日	718,989人 (10,420人)	60.9人	1,295人	48回
29(69)	63校	166日	700,897人 (10,158人)	61.0人	1,249人	49回
30(69)	66校	168日	711,024人 (10,305人)	61.5人	1,267人	49回

項目	年間実績累計	1校平均
会議・打合せ・説明会等への出席	846回	12回
児童の怪我・物損等に伴う 保護者対応	1,463件 うち1回以上の通院:225件 (入院:1件含む)、物損:8件	21.5件
スタッフの怪我・物損等に伴う保険対応	24件 物損:なし	—
放課後子ども教室・学童保育室・学校による情報連絡会	校内及び学校に隣接する学童保育室 32校中全校	—
年1回以上体験プログラム実施校	63校 うち概ね月1回以上実施 43校 ※その他、日常活動 で自由にできるプログラム8 種目を新規60校に導入	—

《事業評価と課題への対応》

- 各実行委員会及び放課後子ども教室の日常運営への支援により、実施計画通りに運営が行われた。安定的な運営を維持するため、スタッフ確保について、説明会を実施し、見守り活動の周知に取り組む。あわせて、マニュアルの改訂、研修の実施により、スタッフ力を強化していく。
- 全学年実施は、前年度より3校、週5日実施は、1校増えた。未実施校については、各校の現状にあわせた支援調整を行い、引き続き、全校実施に向けて取り組んでいく。
- 体験プログラムの拡充については、実行委員会に対して、新規プログラムの周知、導入につなげる働きかけを行い、プログラム実施校を増やすことができた。今後も実行委員会の理解を促進し、定期的にプログラムを実施する放課後子ども教室を増やし、協力団体及びボランティア人材の確保に努めていく。

- * あだち放課後子ども教室: 区主催の学校施設を活用した放課後活動の場の提供事業。児童の自由遊び、自主学習を基本とした体験交流活動の場。
- * 実行委員会: 地域住民により構成された放課後子ども教室の運営主体。児童の安全安心のため安全管理員を選任。
- * 「足立区放課後子ども総合プラン」: 文部科学省と厚生労働省が平成 26 年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が平成 27 年度に策定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大、校内及び隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを目指す計画

予算現額	2,003,000 円
執行額	1,970,716 円

【2】『放課後^{プラスワン}+One』 (放課後子ども教室における体験プログラム)

定款第 4 条第 1 項第 1 号 (1) 体験プログラムの提供 ① 体験プログラム等

(ア) 地域人材活用・体験プログラム		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		208 回	3,120 人	253 回	3,738 人	◎
概要	地域の人材を活用した、放課後子ども教室で実施する体験プログラム					
目的	1 おりがみ教室では想像力の醸成と集中力の向上、読書支援では本への興味関心を高める。 2 子どもに関わる第三の大人を増やすことにより、子どもの体験・交流活動を促進する。 3 地域人材を子どもの活動支援者として活躍する機会を創る。					
実施結果	放課後キッズおりがみ教室	192 回 (24 校)	2,880 人	237 回 (25 校)	3,648 人	—
	放課後キッズ読書支援	16 回 (2 校)	240 人	16 回 (2 校)	90 人	—
	1 おりがみ教室では、季節感のある作品やじっくり折りこむ作品に取り組む創作体験の機会を提供した。読書支援では、読みたい本を一緒に探す・本を紹介する等、本に親しむ体験をサポートした。 2 おりがみをコミュニケーションのツールとして一緒に遊ぶ、本を介して交流するなど、スタッフとは別の大人として子どもたちに関わり、体験活動を支援している。 3 公社が主催する「あだちこどもサポーター養成講座」(P. 30 参照)で学んだ成果を、放課後子ども教室体験プログラムで活かしていただくために各校実行委員会へつなぎ、現在、計 27 校で 100 人超のサポーターが活躍している。					
<< 事業評価と課題への対応 >> 1 児童、こどもサポーター双方からは、毎回活動を楽しみにしているとの声をいただいている。 2 『放課後+One』をさらに推進するため、引き続き人材育成事業と連動して養成講座から活動開始・継続へと継続的な支援を行い、体験プログラムの拡充につなげていく。						

(イ) 団体連携・体験プログラム		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		120回	2,855人	107回	2,716人	◎
概要	公社が企業やNPO法人等の団体と連携し、放課後子ども教室で実施するプログラム					
目的	<p>1 児童の体験・交流活動を充実させるため、放課後子ども教室に適したプログラムを有する様々な団体と連携し、各校の活動状況に適したプログラムを実施する。</p> <p>2 読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、同じ目的のプログラムを実施する団体と連携し、体験・交流活動の効果を高める。</p>					
実施結果	フラッグ鬼ごっこ* / 足立区スポーツ推進委員会	15回 (3校)	300人	22回 (6校)	917人	—
	スポーツスタッキング*教室 / 総合型地域スポーツクラブ U&U	40回 (4校)	800人	38回 (10校)	783人	—
	ミニコンサート&楽器体験 / AJBT アンサンブル	8回 (6校)	240人	9回 (9校)	334人	—
	どうぶつしょうぎ*教室 / どうぶつしょうぎを育てる会「いっぽ」	12回 (3校)	240人	12回 (12校)	273人	—
	将棋教室 / 公益社団法人日本将棋連盟	16回 (2校)	320人	8回 (1校)	82人	—
	おはじきサッカー*教室 / (株)グランディオサービス	—	—	10回 (1校)	132人	—
	工作「ハンズヒントクラブ」夏・冬 / (株)東急ハンズ	1回 (1校)	30人	2回 (2校)	60人	—
	リサイクル工作 / 足立区リサイクルセンター あだち再生館	—	—	1回 (1校)	39人	—
	ロボットプログラミング教室* / 東京メトロ(株)	—	—	2回 (2校)	43人	—
	プログラミング体験教室* / 特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール	—	—	1回 (1校)	35人	—
	ビブリオバトル* / (株)グランディオサービス	7回 (3校)	105人	2回 (2校)	18人	—
	工作「ゆめ広場」 / NPO 法人あちこち会	20回 (20校)	800人	—	—	—
	おもちゃ講座 / (株)イワヤ	1回 (1校)	20人	—	—	—
	<p>1 「フラッグ鬼ごっこ」では、スポーツ推進委員が、体力向上につながる運動遊びを指導した。</p> <p>2 「スポーツスタッキング教室」では、巧緻性、集中力を養うことにつながる遊びの体験ができた。</p> <p>3 「ミニコンサート&楽器体験」は、ジュニア吹奏楽団の指導者の演奏を聴き、児童が直接、楽器に触れる体験も行った。</p> <p>4 「どうぶつしょうぎ教室」は、児童同士の対戦の中で異学年を含めたコミュニケーションを図ることがで</p>					

きた。

- 5 「将棋教室」は、将棋連盟の指導に合わせて、地域のボランティアが指導補助をしている。この仕組みは、将棋連盟の指導終了後、地域のボランティアが教室を継続して運営するためである。本年度は、地域のボランティアが不足したため、予定校数(2校)に満たなかったが、次年度はボランティアの協力を得ることができるよう、実行委員会と調整していく。
- 6 「おはじきサッカー教室」は、テーブルサッカーという新しいジャンルのゲームを提供することができた。連携先の都合により、開催校が限定されるため、次年度は、実行委員会主催のプログラムに移行する。
- 7 「工作教室」については、民間企業及び公共施設のボランティアの協力を得て実施した。連携先が複数になることにより、プログラム内容の幅が広がった。
- 8 「ロボットプログラミング教室」「プログラミング体験教室」では、コンピュータを使用し、遊びながら、他の児童と協力して、課題解決をするという体験機会を提供した。
- 9 「ビブリオバトル」は、実演後、参加した小学生からもおすすめ本を披露してもらうなど、図書を介した交流を行うことができた。
- 10 工作「ゆめ広場」「おもちゃ講座」は、連携先の都合により実施が出来なかった。

《事業評価と課題への対応》

複数の新規連携先(足立区リサイクルセンターあだち再生館、東京メトロ(株)、特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール)を発掘した。その結果、子どもたちに幅広い体験機会を提供することができた。引き続き、読書推進、体力向上、ICT教育につながる種目を意識し、企業・協力団体の開拓及びボランティア人材の発掘に努める。多様な協力団体と連携することにより、放課後子ども教室における体験プログラムを拡充していく。

- *フラッグ鬼ごっこ:スポーツ推進委員会が普及している鬼ごっこ型の宝取りゲーム
- *スポーツスタッキング:数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技
- *どうぶつしょうぎ:3×4 マスの盤でライオンや象が描かれた8個の駒で対戦する、将棋のルールを簡略化した将棋ゲーム
- *おはじきサッカー:「おはじき」の要領で、コマを指ではじきながらゴールを狙うテーブルサッカーゲーム
- *ロボットプログラミング教室:ロボットを動かすことを題材に、タブレット端末等を操作して目的を達成させるプログラム作成を学ぶ教室
- *プログラミング体験教室:カードゲームやタブレット端末を用い、コンピュータが使われている身近なものの仕組みを理解する教室
- *ビブリオバトル:数人の発表者が本を紹介し、子どもが一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム

(ウ) 公社企画・体験プログラム		予定種目/目標校人数		実施結果		達成
		7 種目	新規 37 校(延)	8 種目	新規 60 校(延)	◎
概要	スタッフが実施できるプログラムを公社が企画し、各校へ導入するプログラム					
目的	<p>1 児童の体験・交流活動を充実させるため、放課後子ども教室の条件に適したプログラムを用意し、各校の活動状況に合ったものを導入してプログラム実施校を増やす。</p> <p>2 読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、放課後子ども教室の特性を活かしたプログラムを開発して各校に導入し、体験・交流活動の効果を高める。</p>					
実施 結果	スポーツスタッキング	—		6 校		—
	天下統一*	5 校		6 校		—
	投げる遊び*	10 校		6 校		—
	ラッキーパズル*	10 校		5 校		—
	どうぶつしょうぎ	3 校		14 校		—
	読書の通帳*	3 校		7 校		—
	大型図書*	2 校		6 校		—
	ちゃれんじ！知る見る・ザ・ワールド*	4 校		10 校		—
	幅広い分野の体験機会提供のため、運動、文化、学び・読書の観点からプログラムを企画し、実行委員会へのプログラム趣旨の説明、実施にあたってのスタッフとの調整、用具の準備、児童への周知等を行い、合計 8 種目、計 60 校に新たに導入した。					
<p>《 事業評価と課題への対応 》</p> <p>1 主に、活動スペースや参加人数等の課題があり、これまで体験活動を広げられなかった放課後子ども教室を中心に実行委員会に提案し、活動状況に適した内容をスタッフと調整しながら導入した。その結果、参加児童の体験活動の拡充につなげることができた。中でも、本年度実施した「放課後運動遊びリーダー講習会」を含めた公社からの企画提案により、スタッフが児童に呼びかけ、定期的に実行委員会が運動遊びを主催することにつながった例もあった。</p> <p>2 引き続き、各放課後子ども教室の状況に適し、児童の興味関心を広げるプログラムを企画、提案する。特に、体力向上と読書啓発、オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成に繋げる魅力ある運動プログラム、読書プログラムの実施に一層力を入れていく。</p>						

*天下統一: ボールを投げて人に当てたり、そのボールを捕ったり逃げたりする運動あそび

*投げる遊び: たまねぎ型のボール投げや的当てなど、投げる力を養う運動あそび全般

*ラッキーパズル: 数種類の木片を組み合わせて様々な形を作る木製のパズルゲーム

*読書の通帳: 読んだ本のタイトルを記入する通帳型のカード

*大型図書: 新聞紙大の絵本やパネルシアター等、子どもの目を惹く図書資料を貸し出す取組み

*ちゃれんじ！知る見る・ザ・ワールド: 世界の文化、言葉、国旗の由来等が掲載された図書を使用し、調べながら、「国旗しおり」や「万国旗」の作成などの遊びや学びを通して、世界の国々への関心を高める取組み

※当事業の予算及び執行額は P6 の【1】に含む

【3】安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		69回	1,035人	69回	1,030人	◎
概要	スタッフが事故や怪我の対応に必要な知識と技能を学ぶ講習会(毎年全校で実施)					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当の知識と技術を習得させる。					
実施	4月～7月 全69校で1校につき1回実施 講師:NPO 法人スポーツセーフティージャパン派遣講師					
結果	専門講師を招き、緊急対応(心肺蘇生 AED の使い方)、応急手当の方法(アイシングなど)、熱中症の予防と対策などについて、実技を交えて実施した。					
《事業評価と課題への対応》						
1 緊急時の対応及び応急手当について、毎年最新情報を得ながら実技を交えて確認できることは、見守り活動に役立つとスタッフに好評である。各小学校で開催することにより、AED の設置場所や救急搬送時の対応など、スタッフ間で動作を再確認できている。						
2 実施方法については、講師との日程調整や物品運搬等を見直し、全校での実施を円滑に進められるよう改善を図る。						
3 受講者アンケート等を参考に、講習内容に、新たな情報提供(食物アレルギー等)や、実技を伴うグループワークを増やすなど、見直しを行い、引き続き実施する。						

※当事業の予算及び執行額は P6 の【1】に含む

【4】新任安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		3回	—	3回	55人	◎
概要	新規に登録したスタッフが事故や怪我の対応に必要な知識と技能を学ぶ講習会					
目的	新任のスタッフに、安全管理員としての心構えとして、見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当の知識と技術を習得させる。					
実施	9月11日(火)午前 生涯学習センター	1回	—	1回	19人	—
	11月28日(水)午後 生涯学習センター	1回	—	1回	21人	—
結果	2月28日(木)午前 生涯学習センター	1回	—	1回	15人	—
	講師:NPO 法人スポーツセーフティージャパン派遣講師 見守り活動を開始する際の必修の講習と位置付けられている。専門講師を招き、緊急対応(心肺蘇生、AED の使い方)、応急手当の方法(アイシングなど)、熱中症の予防と対策などについて、実技を交えて実施した。					
《事業評価と課題への対応》						
新任スタッフが緊急時の対応と応急手当の方法を学び、児童の見守りに対する安全意識を高めた。						

		予算現額		196,000 円		
		執行額		194,418 円		
【5】安全管理員研修会（3コース）		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		6回	300人	5回	251人	○
概要	放課後スタッフが見守り業務に役立つ専門的知識と技術を学ぶ研修会					
目的	1 子どもたちの心の問題を理解し、対応と支援方法を学ぶ。 2 グループワークで参加者間の悩みを共有したり、講義で精神的なケアの実践例を学ぶ。					
実施 結果	Aコース 「子どものトラブルの効果的な対処法」 6月2日(土)午後 ギャラクシティ 1月10日(木)午前 生涯学習センター 講師:増田修治氏(白梅学園大学教授)	2回	100人	2回	6/2(土) 98人 1/10(木) 69人	—
	Bコース 「安全管理スタッフ向けのメンタルヘルスケア」 9月20日(木)午前 生涯学習センター 講師:川原正人氏(東京未来大学講師)	2回	100人	1回	17人	—
	Bコースは2回開催予定であったが、講師の都合により1回開催にとなった。参加者が17人と少なかったのは、事前アンケート記入が参加者にとって負荷となったと思われる。					
	Cコース 「リーダー論およびスタッフリーダーのグループディスカッション」 11月8日(木) 生涯学習センター 11月13日(火)こども支援センター 全て午前 講師:磯友輝子氏(東京未来大学准教授)	2回	100人	2回	11/8(木) 29人 11/13(火) 38人	—
<<事業評価と課題への対応>> 1 本年度は、スタッフ自身が精神的なゆとりを持って活動できるように、児童及びスタッフ相互の気持ちの理解を深めることをポイントにテーマを設定した。特にCコースは座学だけでなく、他校のリーダーとの情報交換の時間を設定したことにより、アンケートで「同じ悩みの共有や解決に役立った」との声が寄せられた。引き続き、日常運営に活かすことのできる研修を実施していく。 2 より多くのスタッフが研修内容を共有できるように、研修内容の配信などについて検討していく。						

		予算現額	761,000 円		
		執行額	731,266 円		
【6】運営委員会 《区受託》		予定回数/目標人数	実施結果		達成
定款第4条第1項第5号					
(1)あだち放課後子ども教室支援		1回	—	1回	95人
①あだち放課後子ども教室の支援・推進					◎
概要	全放課後子ども教室実行委員長及び関係団体の代表により組織された運営委員が共通事項を検討する会議				
目的	実行委員長等が、各事項の検討を通して、事業趣旨や必要性に対する理解を深めるとともに新しい課題(放課後子ども総合プランに即した体験プログラムの導入等)への共通認識を持ち、日常運営での取り組みに反映する。				
実施結果	1月29日(火)午後 生涯学習センター 出席者:実行委員長・関係団体代表				
	講演:「今、子どもたちに伝えたい人権の大切さ」 講師:浅香孝子氏(足立地区人権擁護委員 代表) 実行委員会感謝状贈呈 25校 ペアレント・メンター事業案内 日笠よう子氏(一般社団法人ねっとワーキング 代表理事) 参加された実行委員長へのアンケートでは、「これまで人権の話聞く機会がなかったが、今回の内容が見守り活動に大変参考になった。見守りスタッフと日常の見守り方をぜひ話したい。」との声が多かった。				
《事業評価と課題への対応》					
講演のテーマである「人権」について考えることで、日頃の児童への接し方を見直す機会となり、声のかけ方やスキンシップの取り方等、児童対応の認識をあらためるきっかけになった。今後も活動内容の充実に繋がるテーマを教育委員会と協議し、見守り活動に役立つ内容で実施する。					

※当事業の予算及び執行額はP15の【6】に含む

【7】ブロック会議 《区受託》 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		13回	—	13回	196人	◎
概要	運営委員会の円滑な実施を補完するために、小学校13ブロックごとに、各放課後子ども教室の実行委員長と校長が出席し、情報交換や課題の協議・調整を行う会議					
目的	1 実行委員長が、他校の実施状況や取組みを知ることにより、その情報を実行委員、スタッフに周知し、より充実した日常運営につなぐ一助とする。 2 教育委員会及び公社からの事業の方向性、現状課題に関連する情報発信を受けて、実行委員長及び学校が、共通理解したうえで、各校の協力体制を深める。 3 運営の主体となる実行委員会及び活動の場である学校長からの具体的な意見を受けて、その後の運営委員会につなげるなど、教育委員会、公社が事業に関する情報発信、支援内容について見直しを図る機会とする。					
実施 結果	11月19日(月)～12月7日(金)午前又は午後 各ブロックの小学校で順次実施					
	放課後子ども教室の立ち上げから今日までの運営状況を振り返り、感じられる成果を順次報告した。また、現在の運営上の課題を挙げ、解決に繋がる工夫やヒントを出し合い、以後の教室運営の参考となる話し合いを行った。					
《事業評価と課題への対応》 振り返りの報告からは、「他校の体験活動への取り組み方や緊急対応の経験などを聞くことで、今後の見守りの参考になった」という意見を多くいただいた。他校の意見を参考にしたいとの声を踏まえ、ブロックの入れ替えや開催時期の見直しを教育委員会と協議し、他校との情報交換を行えるような形態で実施していく。						

		予算現額	333,000 円		
		執行額	324,000 円		
【8】「あだち放課後子ども教室利用案内」の 配付 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成	実施予定		実施結果		達成
	随時	—	通年	8,000部	—
概要	放課後子ども教室の事業趣旨や参加時の約束事等を記載した冊子を参加対象の保護者及び関係者へ配付する。				
目的	1 事業趣旨への保護者の理解を深め、参加時のルール等への協力を図り、円滑な教室運営につなげる。 2 実行委員・スタッフ、学校関係者等に運営に関する共通理解を図り、安定的な教室運営につなげる。 3 放課後子ども教室登録児童数を増やす。				
実施 結果	今年度、8,000部作成した。				
	1 新1年生の保護者に対して、登録申込み時期を中心に配付し、放課後子ども教室の内容や参加時の約束事を周知した。 2 新しい実行委員・スタッフ、学校関係者への事業説明時に活用した。				
<<事業評価と課題への対応>> 1 保護者の方に、放課後子ども教室事業を理解していただくために、わかりやすい表現を心がけて随時見直しを図って作成している。 2 利用案内の内容は全校共通の事業概要であり、各校の詳細については、各校別の活動案内リーフレットもあわせて配付することにより補完する。					

※当事業の予算及び執行額は P17 の【8】に含む

【9】「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」 の配布 定款第 4 条第 1 項第 1 号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成	実施予定		実施結果		達成
	随時	—	通年	8,000 部	—
概要	スタッフを募集するため、活動内容や現スタッフの体験談等を記載したパンフレットを区民及び関係者へ配布する。				
目的	スタッフの活動内容や魅力を発信し、スタッフの安定確保を図る。				
実施 結果	今年度、8,000 部作成した。				
	主な配布先 スタッフ不足の放課後子ども教室のある学校保護者、地域:約 2,400 部、公共施設:約 300 部、区内大学:270 部、鉄道駅:約 200 部、金融機関:100 部				
	各校への配布の他、今年度新規に地域包括支援センター・生涯学習センター等公共施設、区内の大学・鉄道駅広報スタンド・金融機関へ配架するなど周知先を拡大した。				
<p>1 スタッフ活動の内容ならびにスタッフ自身のやりがい等、体験談を記載したことで、「保護者、地域住民に、スタッフ確保と活動への理解を得るのに役立つ」と、実行委員から地域への声かけの際に活用していただいている。</p> <p>2 募集案内の配布先の拡大やスタッフ活動説明会(P. 6 参照)で活用し、活動内容を整理して説明するための一助となった。</p> <p>3 より効果的な配布先を開拓しながら、配架のみならず説明を付加する等、内容を理解していただく方策を検討し実施していく。</p>					

《目標達成度》

◎…90%以上

○…70%～90%未満

△…70%未満

2 文化事業

文化事業 経費	予算現額	8,226,000 円
	執行額	8,076,103 円

予算現額	625,000 円
執行額	585,970 円

【1】あだちアートリンクカフェ		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成						
②文化団体等地域人材育成						
概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会					
目的	1 情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 2 出会いをきっかけとして、参加者による自主的な企画を創出する。 3 出会いの場に特化した異業種の交流会(「ミートアップ 2019」を実施することにより新たな区民還元となる文化事業につなげる。					
実施結果	第66回「仲町の家-人との縁が開く可能性」	1回	20人	1回	27人	—
	4月27日(金)夜間 仲町の家 ゲストスピーカー:吉田武司氏(アートアクセスあだち 音まち千住の縁 ディレクター)					
	第67回「落語の女子力 寄席の女子力」	1回	20人	1回	15人	—
	5月25日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:林家なな子氏(落語家)					
	第68回「(公財)江東区文化コミュニティ財団の事業に携わって～アートの扉が開く～」	1回	20人	1回	29人	—
	7月27日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:矢吹智英氏(公益財団法人江東区文化コミュニティ財団)					
	第69回「お笑い芸人のポジティブパワー～地元足立区の支えで今がある～」	1回	20人	1回	18人	—
	8月24日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:木曾さんちゅう氏(漫才師)					
第72回「人と人を、人とコトを繋ぎ『世の中を楽しく』したい!」	1回	20人	1回	13人	—	

11月22日(木)夜間 生涯学習センター ゲストスピーカー:加藤千晃氏(ピーアークホールディングス株式会社)					
第73回「ミートアップ2019」	1回	150人	1回	53人	-
2月22日(金)夜間 P-KUN CAFE 内 FUN ルーム北千住 参加者内訳:アーティスト25組29名 企業・団体等22組24名					
<p>1 地域等で活躍する多才なゲストスピーカーを迎え、先進的な文化活動を行う人材と事例紹介を行った。会場を地域の拠点となる施設で実施するなど、区内外のアート関連情報の周知を図った。</p> <p>2 文化芸術に関心を持つ参加者同士が出会い、交流する場を提供したことにより、ゲスト及び参加者の活動の幅が広がった。 例) 加藤千晃氏(ピーアークホールディングス株式会社)×木曾さんちゅう氏(漫才師) →ピーアーク主催「楽縁祭(がくえんさい)」の司会</p> <p>3 今年度初めての企画として、地域のアーティストと企業との「出会いと交流」に焦点をしばった「ミートアップ2019」を開催し、これまで出会う機会がなかった分野の方々同士の新たな出会いと文化芸術の創出の可能性を広げた。 例) 西田幹氏(バストロンボーン奏者)×ヤオキン商事(ギャラクシティ指定管理者) →熱帯JAZZ 楽団 西新井文化ホール公演への出演</p>					
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 文化芸術の分野で活躍するゲストスピーカーと参加者が出会い、自身のコンサートや催し物への出演につながる等の成果を得た。</p> <p>2 新規の参加者の開拓を行い、新しい出会いと交流が創出されている。</p> <p>3 ゲストスピーカー選定及び参加者拡大のため、積極的な情報収集と人材発掘に努めていく。</p> <p>4 「ミートアップ2019」の参加者からは、「これまで出会えなかった方々と出会うことができた貴重な機会」との声が寄せられている。参加者の地域での芸術活動につながる支援を行っていく。</p>					

※当事業の予算及び執行額はP19の【1】に含む

【2】あだちアートリンクカフェ・公開講座		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成		2回	160人	2回	383人	◎
概要	「あだちアートリンクカフェ」の一般区民向けの公開講座					
目的	あだちアートリンクカフェで出会った成果を文化芸術に関心の高い区民を対象に講座を提供することで区民に還元する。					
実施結果	第70回「千住で会おうよ! ~歌うこと、走ること、そして生きること~」	1回	80人	1回	55人	-
	9月28日(金)夜間 生涯学習センター講堂 ゲストスピーカー、ギターボーカル:SUI(大地 穂)氏(シンガーソングライター® 足立区在					

住)、ピアノ:福島 環氏、チェロ:佐野まゆみ氏						
第 71 回「〜ドラムサークル in A-Festa 2018〜」	1 回	80 人	1 回	328 人	-	
10 月 6 日(土)午後 荒川河川敷 虹の広場 エキサイティングゾーン 出演:橋田“ペッカー”正人氏、石川 武氏、野田憲一氏、若林竜丞氏						
地域のアーティストの活動紹介を参加者に向けて行うことにより、文化芸術分野の情報を発信した。						
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 区内外で文化活動を行うゲストスピーカーを招き、文化芸術の関心層だけでなく、より広い区民層への事業参加と周知が図られた。</p> <p>2 ゲストスピーカー選定及び参加者拡大のため、積極的な情報収集と人材発掘に努めていく。</p>						

※当事業の予算及び執行額は P19 の【1】に含む

【3】実践！アウトリーチ講座 定款第 4 条第 1 項第 2 号 (1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
		1 回	15 人	1 回	15 人	◎
概要	アウトリーチ活動に関心を持つアーティスト等を対象に、アウトリーチ活動に関する知識と技術を学ぶ講座(2 日制)					
目的	1 アウトリーチの知識・技術の習得により、地域でアウトリーチ活動を行う人材を育成する。 2 演奏家やそれを支える人材を発掘し、地域での活動による区民還元の可能性を拡大する。					
実施結果	4 月 14 日(土)、15 日(日)午前・午後 竹の塚地域学習センター	1 回	15 人	1 回	15 人	-
	講師:児玉 真氏(一般財団法人 地域創造プロデューサー)、熊倉純子氏(東京藝術大学教授)、演奏:浜まゆみ氏(マリンバ奏者)、白石光隆氏(ピアニスト、東京藝術大学、お茶の水女子大学非常勤講師)					
1 アウトリーチ活動の第一人者である講師陣による講義、実演、グループワークを実施した。 2 アートマネジメントを学ぶ学生から、地域の演奏家、さらには全国的な活動をするプロの演奏家まで様々な受講者が参加した。						
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 国内ではアウトリーチに関する講座は数が少なく、演奏家をはじめ公共ホール職員、音大の学生など他府県からの受講者が増えている。当事業で習得した考え方や知識、技術が参加者自身の活動に活かされ、区内をはじめ区外からも活動報告が寄せられている。</p> <p>2 修了者の活動機会の拡大による区民還元を図るため、公社事業への出演協力や、「イベントコーディネート事業」(P.6)で人材を紹介するなど、文化事業を企画実施する団体・企業への情報提供を行っていく。</p>						

		予算現額		－	円	
		執行額		－	円	
【4】文化団体等支援 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援		予定回数/目標人数		実施結果	達成	
		7回	-	7回	3,126人	◎
概要	自主的な文化活動を行う区民、団体に対し、助言や活動の場の提供などの支援をする。					
目的	活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。					
実施 結果	ブリランテ 夏のコンサート	1回	-	1回	305人	-
	7月6日(金)午後 西新井文化ホール					
	足立吹奏楽団スプリングコンサート	1回	-	1回	460人	-
	5月27日(日)午後 西新井文化ホール					
	歓喜の演 Vol.17《狂言》 ワークショップ	1回	-	1回	28人	-
	8月10日(金)午後 西新井文化ホール					
	歓喜の演 Vol.17 《狂言》	1回	-	1回	465人	-
	11月10日(土)午後 西新井文化ホール					
	歓喜の演 Vol.17 《合唱》	1回	-	1回	900人	-
	12月8日(土)午後 西新井文化ホール					
	ブリランテ 冬のコンサート	1回	-	1回	413人	-
	12月9日(日)午後 西新井文化ホール					
	足立吹奏楽団 第40回定期演奏会	1回	-	1回	555人	-
	2月17日(日)午後 西新井文化ホール					
自主的な文化活動を充実させ、文化面での活動側聴衆側双方の区民還元を図った。						
《事業評価と課題への対応》						
区民による主体的な文化芸術活動の充実を図るため、団体等への助言、支援を行っていく。						

		予算現額	－ 円		
		執行額	－ 円		
【5】イベントコーディネート事業 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	随時	-	16件	-	-
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの出演者や参加団体をつなぐコーディネートをはじめ、企画・運営についての相談に対する助言等を行う。				
目的	地域での文化芸術活動の活性化を図る。				
実施 結果	児童向け音楽コンサートへの出演者紹介(新田小 PTA)				
	足立消防署における表彰式後の防災にちなんだ落語会への出演者紹介(シティプロモーション課)				
	特別支援学級のアウトリーチコンサートへの出演者紹介(足立小、桜花小音楽教諭)				
	イブニングセミナーへの出演者紹介(シティプロモーション課)				
	敬老のつどいイベントへの出演者紹介(長門住区センター)				
	落語会への出演者紹介(佐野地域婦人女性団体協議会)				
	落語会への出演者紹介(千住あずま住区センター 青壮年部)				
	メモリアルリバース合唱参加団体の紹介(アートアクセス音まち千住の縁)				
	学生企画「あの曲のなまおと音楽会(ピアノ、邦楽)」を実施する小学校の紹介(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻)				
	高齢者施設でのコンサート開催施設候補の紹介(ニューヨーク オルフェウス室内管弦楽団)				
	光の祭典オープニング演奏者の紹介(観光交流協会)				
	障がい者施設での新年会への出演者紹介(あだちの里 綾瀬なないろ園)				
	公社企画コンサートへの出演依頼(大前恵子氏)				
	美術史に関する講座 講師紹介(楽学の会)				
障がい者施設でのコンサートへの出演者紹介(あいのわ福祉会 竹の塚あかしあの杜)					
親子で楽しむクラシックコンサートへの出演者紹介(女性団体連合会)					
≪ 事業評価と課題への対応 ≫ 1 毎年同じ団体(5 団体)から依頼を受けていることは、当事業が評価されていると考える。 2 依頼者のニーズに合ったコーディネートや助言ができるよう、引き続き支援していく。					

		予算現額		4,730,000 円			
		執行額		4,701,056 円			
【6】楽団及び楽団友の会の運営支援、 演奏活動の支援【通年】《区受託》 定款第4条第1項第5号 (2)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団の支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成	
		110回	3,850人	119回	17,697人	◎	
概要	「足立ジュニア吹奏楽団」の育成・活動の支援						
目的	1 生涯にわたり音楽を愛好する児童の育成を図り、区の音楽文化を支える人材の輩出に貢献する。 2 楽団活動を通して、足立区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。						
実施 結果	●定期練習 島根小音楽室		88回	3,080人	90回	4,050人	-
	水曜:17時30分～19時30分、土曜:9時～13時または13時～17時に練習している						
	●楽団活動 ※予定回数13回/目標人数455人						
	入団式		1回	80人	1回	65人	-
	4月7日(土)午後 島根小						
	友の会総会		1回	60人	1回	38人	-
	5月12日(土)午後 島根小						
	避難訓練		1回	50人	1回	40人	-
	6月9日(土)午後 島根小						
	合宿事前説明会		1回	60人	1回	60人	-
	7月18日(水)夜間 島根小						
	夏合宿		1回	50人	1回	45人	-
	8月11日(土)～13日(月)日光林間学園						
	ブラスキッズ		6回	115人	6回	108人	-
	1月26日、2月2日、2月23日、3月9日、3月23日各(土)午前、3月24日(日)午前 島根小・西新井文化ホール						
	楽団説明会		2回	30人	2回	22人	-
	1月26日(土)午前、2月2日(土)午後 島根小学校						
	●自主演奏会 ※予定回数5回/目標人数175人						
	オータムコンサート		2回	30人	2回	700人	-
	9月1日(土)午後 アリオ西新井						
	クリスマスコンサート		2回	30人	2回	700人	-
	12月15日(土)午後 アリオ西新井						
	第29回定期演奏会		1回	115人	1回	560人	-
3月24日(日)午後 西新井文化ホール							
クリスマスアンサンブル		-	-	1回	70人	-	

12月22日(土)午後 島根小学校					
●派遣演奏／イベント出演 ※予定回数4回／目標人数140人					
興本扇学園開かれた学校づくり協議会主催 花と音楽と茶道の集い	1回	25人	1回	400人	
4月7日(土)午前 興本扇学園					
LSE!チャリティバザー2018 チャリティバザー実行委員会主催	-	-	1回	1,400人	
4月22日(日)午前 株式会社ライフサポート・エガワ					
平成30年度第39回足立東部地区少年 軟式秋季大会 総合開会式 演奏	-	-	1回	1,018人	-
8月19日(日)午前 中川グラウンド					
あだちブラスバンドフェスティバル実行委員会主催 あだちブラスバンドフェスティバル2018	1回	35人	1回	1,600人	-
10月7日(日)午後 西新井文化ホール					
公益財団法人足立区体育協会主催 第71回足立区民体育大会 総合開会式	1回	40人	1回	525人	-
10月8日(月・祝)午前 総合スポーツセンター					
公益財団法人足立区体育協会主催 スポーツカーニバル	1回	40人	1回	4,196人	-
10月8日(月・祝)午後 総合スポーツセンター					
東京ドームシティアトラクションズ主催 東京ドームシティ・ウルトラハウインキッズパレード'2018	-	-	2回	1,500人	-
10月27日(土)午前・午後 東京ドームシティアトラクションズ					
三星保育園主催 三星子どもバザー	-	-	1回	300人	-
11月4日(日)午前 三星保育園					
島根小開かれた学校づくり協議会主催 もちつき大会	-	-	1回	300人	-
2月24日(土)午前 島根小					
1 区内の小学4～6年生、中学生50名の団員が在籍、島根小音楽室を拠点として週2回の練習を重ね、演奏技術の習得に励んだ。					
2 区内の団体や企業等の依頼を受け、演奏会を実施し好評を得たとともに、地域の方々への認知度が向上した。					
≪事業評価と課題への対応≫ 1 区内の派遣演奏について、毎回依頼先からは高い評価を得ており、毎年定着した演奏依頼を受けている。 2 団員の保護者で組織する楽団「友の会」には、自主的な安定運営ができるよう助言、支援を行っている。					

		予算現額		324,000 円		
		執行額		271,160 円		
【7】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号						
(1)地域学習・団体活動支援						
②文化団体等支援		4回	-	4回	-	◎
概要	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の助成					
目的	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。					
実施 結果	アリオ西新井 オータムコンサート	1回	-	1回	-	-
	9月1日(土)午後 アリオ西新井					
	公益財団法人足立区体育協会主催 第71回足立区民体育大会総合開会式 およびスポーツカーニバル	1回	-	1回	-	-
	10月8日(月・祝)午前 総合スポーツセンター					
	アリオ西新井 クリスマスコンサート	1回	-	1回	-	-
	12月15日(土)午後 アリオ西新井					
	第29回 定期演奏会	1回	-	1回	-	-
	大型商業施設や公共施設で、大勢の観客を前に演奏を披露し好評であった。					
	≪ 事業評価と課題への対応 ≫ 公社による楽器運搬費の支援により、円滑な派遣演奏を実施することができた。今後も楽団への支援を継続していく。					

		予算現額	1,059,000 円			
		執行額	1,034,076 円			
【8】コンサートinミュージアム		予定回数/目標人数	実施結果		達成	
定款第4条第1項第1号						
(2)文化イベント		5回	250人	5回	249人	◎
①コンサート						
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサート					
目的	1 各施設の魅力とその特性を活かした良質のコンサートや催し物を区民に提供する。 2 5施設をつなぎコンサートを実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。 3 各施設の主体的な事業運営を促すことにより、区民との協創関係を構築する。					
実施結果	「一魅惑の中低声 薔薇とオペラの夕べ」	1回	50人	1回	52人	-
	6月30日(土)夜間 わたなべ音楽堂 出演:中野由弥氏(メゾ・ソプラノ)、金沢 平氏(バス・バリトン)、杉原庸子氏(ピアノ)					
	「一滋味溢れる書画とピアノの調べ」	1回	50人	1回	52人	-
	7月30日(月)午後 石洞美術館 出演:白石光隆氏(ピアノ)					
	「一四季を彩るスケッチの世界とパイプオルガンの共演」	1回	50人	1回	50人	-
	10月15日(月)午後 六町ミュージアム・フローラ 出演:原さやか氏(パイプオルガン)、高橋 彩氏(ソプラノ)、マチュー・ガルニエ氏(解説)					
	「一遙かな時を超えてめぐりあう空間と光」	1回	50人	1回	48人	-
	12月12日(水)午後 BUoY 出演:ハルキ氏(活動弁士)、湯浅ジョウイチ氏(演奏)、オフィス・アゲイン(制作)					
	「一梅香る日本庭園とヴィブラフォン&マリンバの共鳴」	1回	50人	1回	47人	-
	3月3日(日)午後 昭和の家<平田邸> 出演:山本玲子氏(ヴィブラフォン)、服部 恵氏(マリンバ)					
	1 区内在住の演奏家に出演を依頼し、地域の人材と施設を紹介することで、より豊かな足立区の魅力を区民に提供し好評を得た。 2 本年度は、新たな拠点として「BUoY」が参画し、区民が文化芸術に触れる機会が増加した。 3 各施設間の協力と連携を図り、事業当日の運営の一部を施設側に委ね、主体性の向上を図った。					
《事業評価と課題への対応》						
	1 毎回、参加者からのアンケート結果からも質、内容ともに満足度の高い評価を得ている。連携する5館の施設間で、当日の運営支援など、相互の協力体制が図られた。					
	2 今後はさらに、施設運営者による当事業への主体性を高めるための助言、支援をしていく。					

		予算現額		1,488,000 円		
		執行額		1,483,841 円		
【9】小学校アウトリーチコンサート		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号						
(3)生涯学習啓発						
①アウトリーチ等		4校 /12回	330人	4校 /12回	369人	◎
概要	小学生を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート					
目的	1 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 2 生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。					
実施 結果	東湧江小	3回	84人	3回	99人	-
	10月26日(金)午前・午後 出演:Buzz Five(金管五重奏)					
	舎人第一小	3回	84人	3回	79人	-
	11月19日(月)午前・午後 出演:大森智子氏(ソプラノ)、白石光隆氏(ピアノ)					
	東伊興小					
	11月27日(火)午前・午後 出演:吉田絵奈氏(鍵盤ハーモニカ)、藤谷一郎(ベース、コントラバス)	3回	81人	3回	95人	-
	千寿常東小					
12月17日(月)午前・午後 出演:大森智子氏(ソプラノ)、田村緑氏(ピアノ)	3回	81人	3回	96人	-	
1 児童が、初めて見る楽器や生演奏の響きを身体で間近に体感し、音楽の楽しさや楽器の仕組みを学び、音楽や演奏家に対する興味関心を高めた。 2 児童の当日の様子や後日行った教職員のアンケートから、多くの感動の声が寄せられ、今回の体験が児童の心を大きく動かしていることがわかった。						
<< 事業評価と課題への対応 >> 事業実施後の音楽の授業では、お互いの音を聴き合う姿勢や、音楽への興味がさらに広がった様子が見られ、音楽への興味関心と意欲の向上につながった。今後も、事業の効果を高めていくため、学校との連携や内容を検討しながら実施していく。						

※当事業の予算及び執行額はP28の【9】に含む

【10】アウトリーチコンサート(児童福祉施設等)		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号						
(3)生涯学習啓発		2回	60人	2回	76人	◎
①コンサート						
概要	子どもの貧困対策の視点から児童等を対象に、プロの生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションを図るコンサート					
目的	1 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 2 子どもの貧困対策の視点から生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む機会の場を提供する。					
実施結果	9月11日(火)夜間 児童養護施設 クリスマス・ヴィレッジ	1回	30人	1回	30人	-
	出演:瀧村依里氏(ヴァイオリン)、内門卓也(ピアノ)					
	3月21日(木・祝)午後 こども食堂いちか	1回	30人	1回	46人	-
	出演:ヴィーヴ!サクソフォーン・クワルテット(サクソ四重奏)					
	1 実際に楽器に触れる体験や、出演者が客席の子どもたちに近づいて演奏するなど至近距離での生演奏を体感し、音楽への興味関心を引き付けた。 2 クリスマス・ヴィレッジでは、子どもたちの代表である「子ども会」のメンバーに参画を促し、ポスター、招待状、司会進行等の役割を担ってもらうことにより、積極的な発言や行動が見られた。「皆に楽しんでもらえて良かった」、「次はもっと頑張りたい」などの感想を得た。					
≪事業評価と課題への対応≫ 1 間近で見る演奏に目を輝かせながら聴き入っている子どもたちの表情を見た施設職員や運営者から、楽器や音楽への興味・関心が高まる体験になったとの感想を得た。 2 事業内容をより有意義なものにしていくため、対象者や演奏内容を検討していく。						

3 生涯学習・スポーツ事業

≪目標達成度≫ ◎…90%以上 ○…70%～90%未満 △…70%未満
--

生涯学習・スポーツ事業 経費	予算現額	1,200,000 円
	執行額	1,063,530 円

予算現額	582,000 円
執行額	529,035 円

【1】あだち子どもサポーター養成講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	4回	84人	7回	232人	◎	
概要	子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座					
目的	1 地域人材を発掘・育成する。 2 子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。					
実施結果	読み語りのためのボイストレーニング講座《5日制》	1回	20人	1回	20人	-
	5月17日～6月14日(毎木曜)午前 生涯学習センター ※6/14 発表体験・午後 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)					
	キッズあそびサポーター講習会《2日制》	1回	20人	1回	22人	-
	7月5日・12日(毎木曜)午前 生涯学習センター 講師:三浦一朗氏(日本レクリエーション協会 公認レクリエーションコーディネーター)					
	放課後運動あそびリーダー講習会 ～ボール編～	-	-	1回	22人	-
	8月29日(水)午前 生涯学習センター 講師:公社職員(放課後+One 運動部会)					
	読み語りのためのボイストレーニング体験教室	-	-	1回	75人	-
	9月29日(土)午前 生涯学習センター 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)					
	子どもと遊ぶおりがみ教室 第11期《5日制》	1回	24人	1回	24人	-
	10月10日～11月7日(毎水曜)午前 生涯学習センター ※10/31 実習・午後 扇小、栗島小 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師・心理カウンセラー)					
	たのしい運動あそびリーダー講習会 ～あそびで育む運動能力～ (あそびサポーター講習会改称)	1回	20人	1回	48人	-
	2月24日(日)午前 生涯学習センター 講師:篠原敏明氏					

(東京未来大学講師/スポーツ庁「子供の体力向上課題プロジェクト」メンバー2016～2018)						
～子どもと本をつなぐ～ 放課後読書支援サポーター講習会	-	-	1回	21人	-	
3月27日(水) 午前 生涯学習センター 講師: 公社職員 (放課後+One 学び・読書部会)						
1 修了者が、読み語りキャラバン活動やおりがみサポーター等、活動につながる支援をした。 2 新規に、運動あそびや読書支援の人材育成講座を企画・実施し、放課後子ども教室等での実践者育成を図った。						
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 「読み読みのためのボイストレーニング講座」修了者の16人を、「読み語りキャラバン」活動につなげることができた。おりがみサポーターは、今回18人が放課後子ども教室での活動を希望し、総計で105人の活動に広がった。</p> <p>2 放課後子ども教室で活動可能な「運動あそびリーダー」や「読書支援サポーター」の発掘・育成をねらいとした講習会を開催した。「運動あそびリーダー」は、講習会を受けた放課後子ども教室スタッフが、現場で遊びのリードを開始し、子どもたちの活動につながっている事例も生まれた。今後も活動の定着が図れるよう、担当職員が各教室現場でのフォローを行っていく。</p>						

※当事業の予算及び執行額はP30の【1】に含む

【2】あだち子どもサポータースキルアップ講座		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		3回	76人	3回	82人	◎
概要	こどもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座					
目的	1 サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 2 子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。					
実施結果	ボイストレーニングスキルアップ講座	1回	16人	1回	14人	-
	6月28日(木)午前 生涯学習センター 対象:今年度講座修了者 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟/演出家)					
	おりがみサポーター活動フォロー講座 (おりがみサポーター1年目活動支援講座改称)	1回	10人	1回	11人	-
	10月24日(水)午前 生涯学習センター 対象:前年度講座修了者 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師/心理カウンセラー)					
	おりがみサポーターレベルアップ講座《2日制》	1回	50人	1回	57人	-
12月5日・12月12日(毎水曜)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動継続者 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師/心理カウンセラー)						

《事業評価と課題への対応》

実践に役立つ技術を学べ、学んだ成果をすぐに活動に活かせるため好評である。定期的にブラッシュアップを図れる機会を提供し、活動の促進・継続化につなげていきたい。

なお、おりがみサポーター活動者数の拡大により、レベルアップ講座の定員増を検討し、次年度は2開催に拡充する。

※当事業の予算及び執行額はP30の【1】を含む

【3】あだちこどもサポーターフォロー講座		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成		2回	60人	2回	57人	◎
①安全管理員等地域人材育成						
概要	こどもサポーター活動を継続するための意識啓発講座					
目的	1 活動のモチベーションの向上を図る。 2 ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に着ける研修機会を提供する。					
実施結果	サポーターフォロー講座 (Aコース) 「楽しい子どもとの接し方」 ～やる気を伸ばす声かけの仕方～ (サポーターフォロー講座Ⅰ改称)	1回	30人	1回	32人	-
	10月30日(火)午前 生涯学習センター 対象:放課後子ども教室体験サポーター 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授)					
	サポーターフォロー講座 (Bコース) グループトークしよう! ～ボランティアの魅力・ボランティアの悩み～ (サポーターフォロー講座Ⅱ改称)	1回	30人	1回	25人	-
11月1日(木)午前 生涯学習センター 対象:放課後子ども教室 体験プログラムサポーター 講師:高井正氏氏(立教大学特任准教授/元足立区社会教育主事)						
《事業評価と課題への対応》						
子どもたちの体験活動を支えるボランティアとして、子どもとの関わり方やボランティア活動の心構えなど、理解が広がった・再確認できたとの声が寄せられた。						
また、他のボランティアの話を聞き交流する機会について、参考になったとの声も多く、情報交換の場としても機能するよう講座内容を検討していく。						

※当事業の予算及び執行額はP30の【1】に含む

【4】あだち子どもサポーター活動支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		208回	-	257回	931人	◎
概要	子どもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・地域学習センター・保育園・高齢者施設等)					
目的	1 サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 2 サポーターの主体的活動への発展を目指す。					
実施結果	おりがみサポーターの活動の支援	192回 (24校)	-	237回 (25校)	854人	-
	読書支援サポーター活動の支援	16回 (2校)	-	16回 (2校)	16人	-
	読み語りキャラバン隊活動の支援(自主公演)	-	-	4回	61人	-
	1 養成講座を修了した方を、放課後子ども教室「体験プログラム」でのボランティア活動へつなぎ、各実行委員会・スタッフとの連絡調整などの支援を行っている。現在、おりがみ・読書支援サポーター計27校での定期的活動につながっている。 2 「読み語りキャラバン隊」の自主活動の支援として、地域イベント・保育園等の活動場所の情報提供や日程調整を行っている。					
<<事業評価と課題への対応>> 1 活動のコーディネートを通じて、延900人を超えるボランティアの活躍の場を支援できた。 2 「読み語りキャラバン隊」自主グループの活動拡大が課題であるため、リーダーとなりうる人材への支援と併せ、新たな活動場所の拡大が図れるよう支援を行っていく。						

※当事業の予算及び執行額はP6の【1】に含む

【5】あだち子どもサポーターネットワーク支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		10回	160人	9回	208人	◎
概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等					
目的	1 活動者相互の情報交換・技術向上。 2 自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。					
実施結果	おりがみサポーター交流会 I	1回	35人	1回	61人	-
	5月30日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方					
	おりがみサポーター交流会 II	1回	35人	1回	71人	-
	1月23日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方					

読み語りキャラバン隊・練習会	7回	70人	6回	63人	-
7月～9月 随時 生涯学習センター 対象:読み語りキャラバン隊自主グループ					
読み語りキャラバン隊・活動連絡会	1回	20人	1回	13人	-
2月21日(木)午前 生涯学習センター 対象:今年度読み語りキャラバン隊加入者・自主グループ					
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 おりがみサポーター交流会は、サポーターの約6割の参加を得ていて、「即時に活動に活かせるヒントを得られた」「モチベーションアップにつながる有意義な機会になった」との感想を多く寄せられた。目的とする、活動を通して培ったノウハウの共有、課題や工夫についての情報交換の場の提供を果たしていると考えられることから、引き続きサポーターの意見を反映しながら進めていく。</p> <p>2 読み語りキャラバン隊への支援では、30年度講座修了者への活動の働きかけが功を奏し、隊員が計33名と増員した。自主活動を推進するため、今後も練習会や活動連絡会を通じて、自主おはなし会活動の拡大が図れるよう支援を継続する。</p>					

	予算現額	234,000 円				
	執行額	178,857 円				
【6】スポーツ指導者スキルアップ講習会<区受託> ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢期)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	4回	120人	4回	77人	△	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	1 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 2 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。					
実施結果	シニア(65～70歳代)対象・基礎理論編	1回	30人	1回	17人	-
	4月30日(月・祝)午前 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士/日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)					
	シニア(65～70歳代)対象・実践指導編 【パークで筋トレ】の体験講座含む	1回	30人	1回	16人	-
	4月30日(月・祝)午後 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士/日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)					
	高齢者(75歳～)対象・基礎理論編	1回	30人	1回	23人	-
	11月3日(土・祝)午前 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士/日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)					
	高齢者(75歳～)対象・実践指導編	1回	30人	1回	21人	-
11月3日(土・祝)午後 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士/日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)						
<<事業評価と課題への対応>> 1 指導の実践力アップが図られるとともに、受講者相互の交流の機会にもなっている。 2 本年度から、区介護予防事業「パークで筋トレ」の体験を組み込み、指導のポイント等を共有した上で事業協力の呼びかけを行い、年間で希望者15名を区スポーツ振興課へつないだ。そのうち、2名が実践者として活動を開始した。引き続き、育成した地域人材が活躍の場面へとつながる取組みになるべく、働きかけていきたい。						

※当事業の予算及び執行額はP35の【6】に含む

【7】スポーツ指導者スキルアップ講習会<区受託> ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		4回	120人	4回	115人	◎
概要	子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	1 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 2 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。					
実施 結果	幼児対象・基礎理論編	1回	30人	1回	20人	-
	7月15日(日)午前 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ/小田原短期大学保育学科特任助教)					
	幼児対象・実践指導編	1回	30人	1回	20人	-
	7月15日(日)午後 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ/小田原短期大学保育学科特任助教)					
	子ども(幼少年期)対象・基礎理論編	1回	30人	1回	38人	-
	1月26日(土)午前 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ/小田原短期大学保育学科特任助教)					
	子ども(幼少年期)対象・実践指導編	1回	30人	1回	37人	-
1月26日(土)午後 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本体育協会公認コーチ/小田原短期大学保育学科特任助教)						
<<事業評価と課題への対応>> 1 子どもの体力向上につながる効果的なプログラムを、実践形式で学ぶ講習会を開催した。受講者アンケートでは「とても参考になった」との回答を多くいただいた。 2 前期実施分では、受講者が予定の人数に達しなかったが、人数が少ない分、ワークショップでは講師との質疑応答が活発に交わされるなど、受講者各々にとっては濃い実習の機会となった。 3 後期実施分では、受講者拡大に向けて、指導対象年齢の設定・実技プログラム中心など、講座内容の再検討を行って実施した。						

		予算現額	272,000 円			
		執行額	253,598 円			
【8】健康づくり・スポーツ活動支援講座		予定回数/目標人数	実施結果		達成	
定款第4条第1項第3号						
(1)地域学習・団体活動支援		2回	80人	2回	134人	◎
①地域学習支援						
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座					
目的	1 生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 2 スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。					
実施結果	スポーツコンディショニング講座 (ジュニアスポーツ編) ～頑張る子どもたちを応援!支える大人のセミナー～	1回	40人	1回	27人	-
	7月17日(火)午前 生涯学習センター 講師:高田章史氏 (R-body project/東京都アスリート発掘・育成トレーナー/日本体育協会アスレティックトレーナー)					
	あだちウェルネスカレッジ Vol.10 ～人生100年時代～ 「筋活のススメ」	1回	40人	1回	107人	-
	11月4日(日)午前 生涯学習センター 講師:久野譜也氏 (筑波大学大学院人間総合学科教授 / Smart Wellness City 首長研究会事務局)					
<p>《事業評価と課題への対応》</p> <p>1 スポーツコンディショニング講座は、野球・サッカー・水泳・柔道・新体操など幅広い種目の指導者や保護者が受講しており、スポーツ種目全般に共通するテーマが学習ニーズに合致したと考えられる。からだの土台づくりの重要性やコンディショニングの具体的な方法など、スポーツ活動における小・中学生期の特徴を踏まえた実技を学べる機会となり好評を得た。</p> <p>2 ウェルネスカレッジは、人生100年時代に備え、新しい健康・体力づくりの考え方を学ぶ機会としてテーマを設定した。これまでは主に生活習慣病予防の観点から、ウォーキングを代表とした有酸素運動が推奨されてきたが、迎える100年時代は、加えてフレイル*対策としての「筋力トレーニング」も重要と言われている。「筋トレ」推奨の第一人者で、マスコミや各地での講演活動で活躍されている講師から、「筋トレ」の有効性をわかりやすく講義していただき、受講者のアンケートからも「理解が深まった」「実践につなげたい」との声がたくさん寄せられた。</p>						

*フレイル：加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能）が低下し、生活機能が後退する状態。
疲れやすく元気がわからない、社会交流活動が低下した虚弱の状態。

※当事業の予算及び執行額はP37の【8】に含む

【9】地域活動支援講座		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		2回	60人	2回	69人	◎
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座					
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。					
実施結果	子ども学講座Ⅰ(子どものことを考える大人の勉強会) 《2日制》 ～小学生の反抗期がわかる！対処法のヒント～	1回	30人	1回	32人	-
	8月7日(火)、10日(金) 午前 生涯学習センター 講師:藤後悦子氏(東京未来大学教授)					
	子ども学講座Ⅱ(子どものことを考える大人の勉強会) 《2日制》 ～子どもとのルールの作り方～	1回	30人	1回	37人	-
3月5日(火)、20日(水) 午前 生涯学習センター 講師:須田誠氏(東京未来大学教授)、藤後悦子氏(東京未来大学教授)						
<<事業評価と課題への対応>> 1 アンケートによると、地域活動等で子どもと関わっている方々から、子どもの心理を理解し対処方法のヒントを得る機会となったとの感想を多くいただいた。 2 講座ではワークショップを取り入れ、子どもと接している上で日頃から抱えている悩みを話し合い、共感し、アドバイスをし合う場面も創れ、相互に学び合う機会につなげることができた。 3 子どもの発達段階期に焦点を当てるテーマと、課題となる状況・状態の解決のヒントとなるテーマと、毎回、地域活動の実践者にとって必須なテーマの企画立案が課題である。アンケートはもとより、常に実践者の生の声を収集して社会情勢とともに参考にしていく。						

予算現額	— 円
執行額	— 円

【10】地域学習コーディネーター事業		予定件数/目標		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		随時	—	3件	—	-
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口					
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。					
実施結果	地域人材育成事業相談(吉川市中央公民館) 人材育成の手法についてのアドバイス 家庭教育講座講師紹介(千住地区・開かれた学校づくり協議会)					
	PTA 事業相談(千寿桜小)コーディネーショントレーニング指導者調整 主催者の事業趣旨に即した提案・講師の紹介を行った。					

《事業評価と課題への対応》

- 1 相談の求めに応じて丁寧なヒアリングを行ったことが感謝の声につながったと評価している。
- 2 引き続き効果的な学習活動につながる支援をめざして、企画提案を行っていく。

	予算現額	112,000 円				
	執行額	102,040 円				
【11】読み語りキャラバン隊*によるおはなし会	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等	5回	250人	6回	575人	◎	
概要	地域の施設を巡回し、子どもや親子に読書に親んでもらう機会を提供するイベント型おはなし会					
目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 2 親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。 					
実施 結果	生涯学習センター	1回	50人	1回	63人	-
	6月14日(木)午後					
	花畑八千代幼稚園	1回	50人	1回	247人	-
	7月12日(木)午後					
	弘道幼稚園	1回	50人	1回	78人	-
	11月19日(月)午後					
	ギャラクシティ	1回	50人	2回	137人	-
	12月24日(月・祝)午前					
	東伊興児童館	1回	50人	1回	50人	-
3月8日(金)午前						
《事業評価と課題への対応》						
<p>参加者が、一斉に考える・笑う・声を出すなどの同調の機会を盛込んだ参加型おはなし会を開催し、お話しや言葉への興味につながる機会とした。このような共有体験は、相互のコミュニケーションを促進する作用が働き、信頼関係を築く上でも大切な機会となり得る。</p> <p>今後も、養成講座修了者を読み語り活動実践者として育成し、事業を継続していく。</p>						

*読み語りキャラバン隊:公社主催「読み読りのためのボイストレーニング講座」修了者有志により編成

4 広報事業

《目標達成度》 ◎…90%以上 ○…70%～90%未満 △…70%未満

広報事業 経費	予算現額	9,611,000 円
	執行額	8,057,253 円

		執行額	4,795,200 円		
【1】公社ニュース「ときめき」での自主事業等 情報発信 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供①公社ニュース・ホームページ等作成	予定回数/目標	実施結果		達成	
	12回	392万部	12回	397万部	◎
概要	公社自主事業や「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報を掲載。(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉サービスセンターゆう、年12回、全戸配布)				
目的	公社事業を広く区民に周知する。				
実施結果	広報計画に基づき、年間事業の情報を掲載した。 〈内訳〉放課後子ども教室 9件(4月号、11月号は1面掲載あり)、学習・スポーツ事業 20件 文化事業 13件、その他 5件				
《事業評価と課題への対応》 自主事業、受託事業とも広報計画どおりに掲載した。限られた紙面において、区民の皆様は公社事業を認知いただけるよう、よりわかりやすい紙面構成を目指していく。					

		執行額	3,262,053 円		
【2】公社ホームページによる情報提供事業 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供①公社ニュース・ホームページ等作成	予定回数/目標	実施結果		達成	
	通年	-	通年	-	-
概要	公社概要や事業案内などの情報提供を行う。				
目的	公社事業への興味関心を高める。				
実施結果	1 最新情報に更新した。情報 117件更新 〈内容〉ときめき掲載の募集案内、講座・講習会等の実施案内、放課後子ども教室の実施状況 イベントレポート、平成29年度財務諸表、平成29年度事業報告、公社概要等 2 アクセス数は4月～3月の月平均 1,686回				
《事業評価と課題への対応》 随時情報更新を行った。引き続き最新情報の更新に努めるとともに、掲載情報の充実手段について検討していく。					

5 その他

公益目的事業に対する人件費

公益目的事業に対する人件費 経費	予算現額	263,998,000 円
	執行額	260,080,862 円

【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系 1~4	執行額	260,080,862 円
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費	
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(91%)した。	

その他前号に定める事業に関連する事業

その他前号に定める事業に関連する事業 経費	予算現額	56,411,000 円
	執行額	53,553,716 円

【2】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】	執行額	53,553,716 円
概要	理事会や評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等	
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公社管理運営費及び法人運営に係る人件費を按分(9%)した。また、公社自主財源から、物品等の購入をおこなった。	

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成30年度 事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
総務部企画調整担当課長 03-5813-3724